

Dr. Leslie J. DeGroot 先生 御逝去のお知らせ

一般社団法人 日本内分泌学会

去る 2018 年 10 月 23 日に、日本内分泌学会の名誉会員である Leslie J. DeGroot 先生 (1928 - 2018) がご逝去されました。

先生は、本学会の発展に多大な貢献をされ、ここに改めて哀悼の意を表します。

DeGroot 先生は Union College を卒業 (1948 年) 後、Columbia University に入学、同医学課程を修了 (1952 年)、Presbyterian Hospital におけるレジデントを経て National Cancer Center, National Institutes of Health に赴任されました (1955 年)。同年 Afghanistan 派遣後、翌 1956 年に帰国、John Stanbury 先生のもとで Endocrinologist, Thyroidologist としての修練を開始し (Massachusetts General Hospital)、Harvard Medical School 勤務や Massachusetts Institute of Technology (1966 年) を経て Professor of Medicine and Director of the Thyroid Study Unit (The University of Chicago) に就任されました (1968 年)。さらに、Brown University (2005 年)、University of Rhode Island (2008 年) に異動され現在に至ります。

先生は、先進医学をいち早く取り入れ、常に最新の知見を提供されました。臨床内分泌医として診療を行ないつつ、1960-1970 年代から自己免疫性甲状腺疾患、甲状腺ホルモン合成とその活性化機構、ヨード代謝、甲状腺癌等の研究を行われました。1970-1990 年代には甲状腺ホルモン作用機構、甲状腺ホルモン受容体の分野で世界のリーダーでした。1980 年代からは分子生物学を用いた研究手法を積極的に取り入れ、1990-2000 年代からは臨床サンプルを活用して、HLA、T 細胞抗原、経口トレランス、遺伝子治療の研究を遂行されました。最近では、免疫チェックポイント阻害剤に興味を持たれていました。また、重要な功績として、内分泌学の普及に貢献した教科書：Endocrinology (現在第 4 版) の編集・発行が挙げられます。同書は今も世界中の Endocrinologists の基礎研究及び臨床に役立っています。

先生は、キャリアを通して 400 以上の論文、著書、総説等を出版されました。学会活動においてはアメリカ甲状腺学会の President、New England Journal of Medicine 誌の Associate editor、Endocrinology 誌の Editorial board 等を歴任されています。

また、先生は早くからインターネットの重要性に着目し、2 種類の大きなウェブサイトを立ち上げられました。臨床内分泌学におけるオンラインジャーナルの先駆けとして 2000 年に EndoText: www.endotext.org を、続いて甲状腺学のウェブソースとして Thyroid Manager: www.thyroidmanager.org を設立されています。両サイトともに「生きた教科書」として 44000 人以上の読者に支持されています。

基礎から臨床まで、幅広い分野で常にリーダーであり続けたのが Leslie J. DeGroot 先生であったと思います。

生涯を通して、日本を始めとして世界中からの多数の留学生が研究室に在籍し、先生の指導を受け、臨床及び基礎内分泌学のリーダーとして羽ばたいていきました。また、先生は多忙な中でも農作業や政治談議にも真剣に取り組まれる方でした。

先生は仕事及び家庭においても常に革新的であり、人々のために働き続けられました。

ようやく今、休息の時を迎えられました。謹んでお悔やみ申し上げます。

なお、以下のサイトにおいて、先生のインタビューの閲覧が可能です。

アメリカ甲状腺学会: <https://www.thyroid.org/portfolio/history-archives-interview/>

アメリカ内分泌学会: https://www.endocrine.org/~media/endosociety/files/about-us/sawin/lesliedegroot_trans.pdf?la=en

* 本稿は実娘の Annie S DeGroot 氏の許可を得て掲載しています。